

前段の如く、そうじ 莊子ならずとも多くの方々はしんらばんしやう 森羅万象、形の有無に関係なく其々に使命をもって存在しているのだと思つてみえます。親鸞曰くいわ 自然法爾の姿なのです。浄土宗祖法然上人様の名前もじねんほうに 自然法爾から付けられたと言われています。今年、法然上人様八百年御忌に際し、平成天皇様より「法爾」と言う諡号を賜りました。自然法爾」とは人間が自然に対して手を加える事が無い状態を指します。今の欲望に負けるか、将来の希望に夢を託す事が出来るのか、**地球を壊すのも人間ですし、又、地球を守る事が出来るのも人間であると思つております。**我々は自然の恵みを媒体として生命の維持ができております。この事実を忘れ軽んじては罰があたりましょう。自然の流れに逆らうのは無謀としか言いようがありません。空海大師様が四国霊場二十一番御本尊虚空藏菩薩様で「空」を会得されたそうです。私は大日如来様の働きの一つ「大円鏡智」ではなかるうかと思ひます。枯れる事の無い智慧の泉から天の声、地の声を聞き、生活をするのに、水が無く困っている民居ればここを掘れば水が出ると教え、日照りが続けば天に雨乞いをして、民を助けました。現在にも耳で聞き、目で聞き、肌で聞く事ができる方が見えればぜひお会いしたいものです。佛の四（五）大智慧の中に「**大円鏡智**」という一つの大きいなる智慧があります。私は法然上人様が提唱されました**称名念佛**もこの中に入ると思っています。例えば小さな手鏡の中に月も入ってしまう様に、一点の汚れ無き鏡に全ての現象が映し出されます。大円鏡智とは映し出された事柄に対し、正しい判断を下す為の智慧が働き出すのです。鏡に汚れあれば満足な姿を映し出す事が出来ません。常に正しい判断が出来る様に、この鏡の掃除をしてくれるのが法然上人様の提唱されました**称名念佛**なのであると思つています。ですから法然上人様は一心専念彌陀名号と申されたのです。御念佛を称えましょう。私は鏡に汚れあるうちは極楽往生出来ないと思つています。

明治三十七年に「天」と言う御題で明治天皇が御読みに成られた詠に **あさみどり 澄みわたる大空の廣きをおのが心ともがな**」と、**心ともがな**で結ばれた処に深い意味があると思います。廣大無辺に澄みわたる大空のような心でいたい、心を持ちたい。そうゆうお気持ちで国民と接したい御自身を御詠みになったのでしよう。我々の視野に入る自然は少ないけれども、心に受ける感銘は深いものがありました。

私は自然法爾というも精進努力を否定する訳ではありません。**我々は目先のみに囚われる事無く広い視野、見解を持ち、自己の欲望の為だけでなく第一に人類の存続を考えて行動してゆきたいと思ひます。** **無上甚深微妙法** 最高に深く優れた佛様の教え) なのです。

二十三年八月一日

善壽男善入院油掛地藏尊